

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和4年6月29日(水) 午前11時00分 開会・午前11時50分 閉会
開 催 場 所	市役所B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	相葉学 奥山重信 小野吉雄 木村哲弘 小林昌幸 篠塚玲子 多田ひとみ 手島吉紀 永井健一 沼井里恵 三木敏正 向野康宏 森谷秀一 渡邊剛
欠席委員(者)氏名	山本有男
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課(事務局) 主 幹 松落義夫
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 あいさつ 3 議事 プラスチックごみ一括回収について 4 その他 パッカー車の火災について 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料 ・プラスチックごみの一括回収にかかる説明資料 ・パッカー車の火災にかかる説明資料
事務局職員職氏名	環境経済部部長 原嶋裕子 環境経済部次長 横田一洋 環境経済部エコ・クリーン政策課長 竹廣由美 環境経済部副参事(脱炭素・資源循環担当) 中村 慧 エコ・クリーン政策課 主幹 松落義夫 主査 村上俊 主査 西村卓也 総合クリーンセンター 副参事 橋本賢司
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○議題

プラスチックごみの一括回収について

事務局より令和4年度第1回入間市廃棄物減量等推進審議会資料を用いて、プラスチックごみの一括回収について説明を行った。

本日の会議での各委員からの意見を、第2回目以降の参考とする。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会	1 開 会 (配布資料の確認を含む。)
小林会長	2 会長あいさつ
司会	本年度、初めての会議となるため、事務局の紹介
小林会長	3 議事
	それでは、これより審議会を開始する。
	本日の会議録の署名につきましては、篠塚委員にお願いする。傍聴人が1名いるので、入場していただく。
	それでは議事『プラスチックごみの一括回収』について、事務局から説明願う。
事務局	※資料「令和4年度 第1回 入間市廃棄物減量等推進審議会」資料を使用し、要点説明を行う。
	(令和4年4月1日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、これにより「容器包装プラスチック」と「製品プラスチック」を一括で回収することができるようになった。これを受け、令和5年4月からプラスチックごみを一括で回収するための説明を行った)。
小林会長	ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見を伺います。
三木委員	現状でもプラスチック・ビニールの日は集積所がいっぱいになっている。さらに増えるとなると入りきらない。
事務局	既に一括回収をしている狭山市に確認したが、製品プラスチックと容器包装プラスチックの比率は20：1であり、とくにあふれて困るという苦情は来ていないとのこと。今後実施する家庭ごみの組成分析調査で詳しい状況が分かるので、今後の収集体制についても検討したい。
三木委員	ごみの量が多いと収集が15時くらいまでかかることがあるがそれ以上かかることはないか。
事務局	収集業者と調整をする。
向野委員	自治体によっては、BtoB(元請けと下請け間の取引)をやっている。
篠塚委員	例えば、プリンターはどの様に扱うか。
事務局	一括回収の対象品目となる。
篠塚委員	一括回収で困る事はあるか。
事務局	市民にとっては、分かりやすくなるのではと考えている。
渡邊委員	学校のボランティアで廃棄物の処分をやっているが、粗大ごみはどの程度の

発 言 者	発 言 内 容
事務局	大きさか。
事務局	30cm以上は粗大ごみ扱いとなる。
木村委員	製品プラスチックは最終的に千葉の製鉄工場の燃料になる、とあるが、還元
	剤として1mmくらいのチップにし、科学工場でリサイクルする。燃料とし
	て再利用というのは、表現が違うのでは。
事務局	容器包装プラスチックリサイクル協会（狭山市）へ持って行くので、その先
	は協会で決めている。
奥山委員	一括回収を実施することにより、不都合はあるのか。
事務局	今年の4月に法律が変わって一括回収できることになり、解りやすくなった
	と思われる。
奥山委員	市民の方々にとっても良いことと書いた方がよいと思う。
手島委員	家庭ごみの組成分析調査はこれまでに実施したことがあるか。
事務局	家庭ごみに特化した調査はない。総合クリーンセンターで、ごみの質を調べ
	るための調査を実施しており、サンプル調査としている。
手島委員	別の審議会でプラスチックごみが47%もあるという結果があるので、プラ
	スチックごみが週1回で良いかよく確認した方がよい。
相葉委員	資料3ページにプラスチックごみは全て再商品化とあるが、どのように再商
	品化をするのか。
事務局	入間市は再商品化していない。容器包装リサイクル協会のルートで処理して
	いる。
森谷委員	一括回収は固いプラスチックの資源化をすることとなったことから、市民は
	分別することが少なくなる。また、今まで埋めていたものがリサイクルされ
	るので、最終処分場の延命にもつながる。
会長	他に無ければ以上で議事を終了する。
司会	次に事務局より連絡をお願いする。
	（総合クリーンセンターよりパッカー車の火災について）
司会	最後に奥山副会長から閉会の挨拶
奥山副会長	以上で令和4年度第1回の廃棄物減量等推進審議会を終了する。

発 言 者	発 言 内 容
議事の内容末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和 4 年 9 月 30 日	
議 長 の 署 名	小林昌孝
議長が指名した者の署名	篠塚玲子